

代表取締役人事に関するお知らせ

野原ホールディングス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：野原数生)は、2018年3月16日開催の取締役会において、下記の通り、2018年7月1日以降の代表取締役人事について決定いたしましたことをお知らせいたします。

新体制においても、引き続き、常に変化し成長し続け、社会に貢献する野原グループを目指します。

記

1. 代表取締役人事の内容

氏名	新役職	旧役職
野原数生(ノハラ カズオ)	代表取締役会長	代表取締役社長
野原弘輔(ノハラ コウスケ)	代表取締役社長	取締役

(2018年7月1日就任予定)

2. 新社長の紹介

別紙をご参照願います。

以上

野原ホールディングス株式会社について

2017年、創立70年を迎えた野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

2017年7月には、さらに機動力をもって成長を加速させるべく、野原産業株式会社からホールディングス化をいたしました。これまで蓄積した経験と知見、ネットワーク力を活かしながら、事業領域や業界構造にとらわれることなく、新たな提案を行うイノベーターを目指し、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、建設情報のデジタル化を目指す新会社BIMobject Japan株式会社の設立など、新規事業を積極的に展開しています。

【会社概要】

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

設立：2017年1月5日

資本金：4億8,000万円

代表取締役社長：野原 数生

▼会社ホームページ

<http://www.nohara-inc.co.jp>



【本リリースに関する問い合わせ先】

野原ホールディングス株式会社 社長室(担当：齋藤、中島)

e-mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

TEL：03-3357-2231

新社長及び野原グループのご紹介

野原ホールディングス株式会社

新社長のご紹介



氏名：野原弘輔(ノハラ コウスケ)

生年月日：1978年3月21日

(現 代表取締役社長 野原数生の長男)

2006年の野原産業入社後は、全社の経営戦略を担当。その後、左記に加えて新規事業、新規商品、海外事業を担当。2015年からは、グループのスタッフ部門についても管掌。全ての海外現地法人の立ち上げに関わり、野原ホールディングス 100%子会社で海外事業統括会社の Nohara International Pte. Ltd. の CEO として、アジア諸国を中心に

建設資材製造・販売や太陽光発電事業等の海外事業展開にも注力している。

現在グループで取り組んでいる数多くの新規事業について、事業創出段階から深く携わっている。日本における建設業界のデジタル化を牽引すべく、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」の立ち上げや、BIM データライブラリーの「BIMobject®」を世界的に展開するスウェーデンの BIMobject 社にいち早くコンタクトをとり、合併会社である BIMobject Japan 株式会社の早期設立を実現した。

<経歴>

2017年 野原ホールディングス 取締役就任/ BIMobject Japan 株式会社 取締役就任

2015年 Nohara International Pte. Ltd. CEO 就任

2009年 野原産業 取締役就任

2008年 野原産業 執行役員就任

2006年 野原産業 入社

2004年 日興シティグループ証券 入社

2000年 シティバンク、エヌ・エイ 入社

<学歴>

慶応義塾大学 経済学部卒業 (学士)

シカゴ大学 経営大学院卒業 (MBA)

野原グループについて

<歴史と変化の企業グループ>

野原グループは、2017年、創立70年を迎えました。創立時より、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきたグループ企業です。



<ユニークな事業の創出>



2015年より、「Globalization」「Technology」「Innovation」をキーワードにユニークな事業の創出を目標に掲げております。近年では、建設業界の発展に寄与すべく、業際での新規事業も数多く展開しています。

-「Globalization」

グローバル社会の一員として、各国・地域の発展に貢献する

-「Technology」

新化するICT(情報通信技術)を駆使し、社会の利便性向上に寄与する

-「Innovation」

新たな価値を持つ商品・サービスを産み出し、社会に変革をもたらす

<新規事業のご紹介>

- ・日本における建設情報のデジタル化による情報価値の最大化に貢献する「BIMObject Japan 株式会社」(2017年) <https://bimobject.com/ja>
- ・グッドデザイン賞受賞作品を集めた国内唯一のデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」(2017年) <http://gdst.nohara-inc.co.jp/>
- ・建材取扱数が国内最大級のプロ向け建材通販サイト「アウンワークス」(2015年) <https://www.aunworks.jp/>
- ・持続的に利用できるエネルギー源分野への取組である、再生エネルギー「NOHARA SUNSUN GUARD 20 (O&M)」(2016年) <http://pv-om.nohara-inc.co.jp/>
- ・デザイン性が高く、色柄のバリエーションも無限に広がる、自由な発想に寄り添う壁紙ブランド「WhO(フー)」(2015年) <http://whohw.jp/>
- ・都内16か所で素敵で非日常感のあるキッチン付きのレンタルスペースを提供する「Patia(パティア)」(2015年) <https://www.patia.tokyo/>
- ・時代のニーズとともに日々進化する商業施設(CS: commercial space)に対し、建材商社として材料供給、そして工事受注とオリジナル製品の提案を展開している「CSカンパニー」(2015年)